## 火の元と安全

私たちにとって身近で危険な火災は、住宅火災です。

火災の原因は「タバコ」が最多 (9%) ですが、「火あそび」による火災も発生しています。

火災に巻き込まれた場合、火災報知器がなってから安全に逃げることができるのは2分間と言われています。

そのため、火災報知器を設置し、2分間で避難できるよう、日頃から確認しておきましょう。

## 応急処置のポイント

火災に巻き込まれた場合、

軽症と思われても気道熱傷(空気の通り道のやけど)を起こしている可能性があります。

速やかに医療機関を受診しましょう。



## 家庭での事故(傷害)予防のポイント

火災の原因の第一位はタバコです 子どもにはタバコの危険性を





また、 喫煙している大人は 禁煙を目指しましょう



ライター、マッチなどは子どもが 興味を持って触ることがあります 手の届かないところで保管しましょう

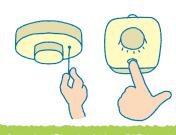


ライターは安全装置が付いているもの を使用しましょう ガスコンロや暖房器具の周囲には 燃えやすいものは置かないように しましょう



場所によっては、柵を置いて 子どもが触れられないように しましょう

火災報知器を設置し、 定期的に子どもと一緒に 作動テストをしましょう



火災報知器が鳴った後、 2分間で避難ができるかどうか 子どもと一緒に確認しましょう







## 実際にあった事例

2ルームテント内での一酸化炭素による中毒 injury alert (傷害速報) No.83

8歳男児、6歳女児の兄弟がキャンプ場の2ルームテントの入口でバーベキューコンロを用いて調理したのち、 頭痛・意識消失を生じ医療機関を受診。静脈血高COHb血症を認め、一酸化炭素中毒と診断された。

主治医からのひとこと